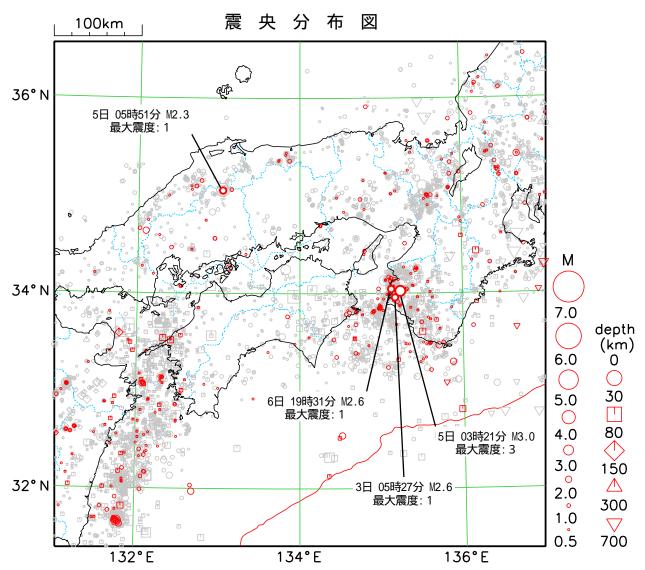
# 大阪管区気象台 週間地震概況

2021年10月1日~10月7日 (地震回数383)



- ・管内で震度1以上を観測した地震には、その地震に吹き出しを付加し、最大震度を記載する
- ・赤色は2021年10月1日~10月7日の震央を、灰色は対象期間から3ヶ月前までの震央を示す
- ・Mはマグニチュードを表す

### 概況

この期間、管内で震度1以上を観測した地震は6回(うち上図の範囲外の地震は2回)でした。 このうち管内で震度3以上を観測した地震は1回でした。

#### 【和歌山県北部の地震】

5日03時21分、和歌山県北部の地震(深さ5km、M3.0)により、和歌山県湯浅町で震度3を観測したほか、和歌山県で震度1を観測しました(別紙参照)。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

## 10月1日から10月7日までの大阪管内で震度1以上を観測した地震

| 地震発生時刻 震央地名<br>各地の震度 (大阪管内のみ掲載)   | 緯度        | 経度           | 深さ     | マグニチュード | 最大震度         |
|---|-----------|--------------|--------|---------|--------------|
| 2021年10月03日05時27分 和歌山県北部<br>和歌山県 震度 1 : 由良町里*,日高川町土生  |           | N 135°10.1 E | 7km    | M2.6    | 1            |
| 2021年10月05日03時21分 和歌山県北部<br>和歌山県 震度 3 : 湯浅町青木*<br>震度 1 : 有田市初島町*,由良町島   |           |              |        |         | 3            |
| 2021年10月05日05時51分 広島県北部<br>広島県 震度 1 : 庄原市高野町*   | 35 ° 03.2 | N 133°02.5 E | 5km    | M2.3    | 1            |
| 2021年10月06日17時12分 大隅半島東方沖<br>高知県 震度 1 : 宿毛市桜町*  | 31 ° 14.7 | N 131°28.8 E | 43km   | M5.4    | 4            |
| 2021年10月06日19時31分 紀伊水道<br>和歌山県 震度 1 :海南市下津*,有田市箕島   |           |              |        |         | 1<br>  町下津野* |
| 2021年10月07日22時41分 千葉県北西部<br>滋賀県 震度 1 : 彦根市城町,近江八幡市村<br>大阪府 震度 1 : 大東市新町*<br>兵庫県 震度 1 : 豊岡市桜町<br>奈良県 震度 1 : 大和郡山市北郡山町* |           |              | 5 75km | M5.9    | 5強           |

### (注)

<sup>\*</sup>は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

# 10月5日の和歌山県北部の地震について

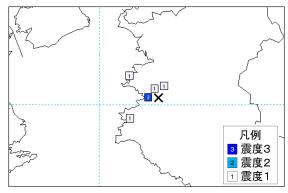


図1 震度分布図(×は震央)

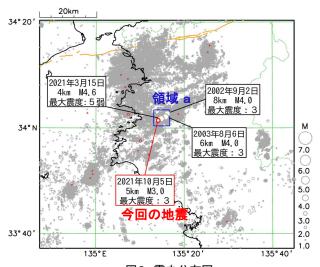


図2 震央分布図 (1997年10月1日〜2021年10月7日、深さ0〜20km、M≥1.0) ※2021年10月の地震を赤く表示 図中の橙線は地震調査研究推進本部による活断層

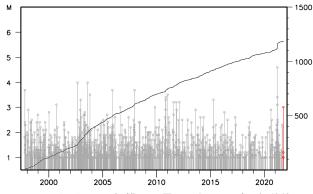


図3 図2の領域a内の規模別地震活動経過及び回数積算図

5日03時21分、和歌山県北部の地震(深さ5km、M3.0)により、和歌山県湯浅町で震度3を観測したほか、和歌山県で震度1を観測しました(図1)。この地震は地殻内で発生しました。この地震の発生後、震源付近で震度1以上を観測する地震は発生していません。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(図2の領域a内)は、地震活動の活発な領域で、M4程度の地震も時々発生しており、2021年3月15日にはM4.6(最大震度5弱)の地震が発生しています(図3)。

1919年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(図4の領域b内)では、M5程度の地震が時々発生しています(図5)。2011年7月5日にM5.5(最大震度5強)の地震が発生し、住家一部破損21棟などの被害が生じました(被害は総務省消防庁による)。

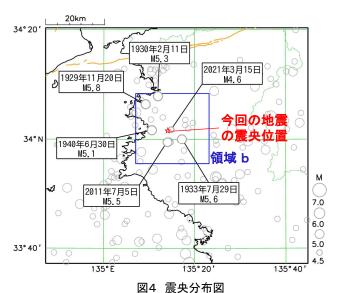


図4 辰央が市図 (1919年1月1日~2021年10月7日、深さ0~100km、M≥4.5) 図中の橙線は地震調査研究推進本部による活断層

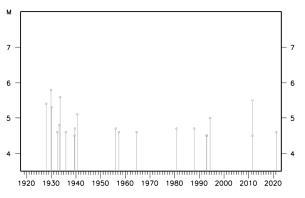


図5 図4の領域b内の規模別地震活動経過図